

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校北海道リハビリテーション大学校
設置者名	学校法人吉田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	理学療法学科	夜・通信	465 時間	320 時間	
	作業療法学科	夜・通信	480 時間	320 時間	
	言語聴覚学科	夜・通信	330 時間	240 時間	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/rehabili/">https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/rehabili/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校北海道リハビリテーション大学校
設置者名	学校法人吉田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人吉田学園ホームページ <a href="https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/">https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(株) ほくていホールディングス 取締役会長	自令和5年4月14日 至令和7年4月13日	経営企画及び管理
非常勤	サツドラホールディングス(株) 代表取締役会長	自令和5年4月14日 至令和7年4月13日	経営企画及び管理
非常勤	(株) ムラタ 代表取締役会長	自令和5年4月14日 至令和7年4月13日	経営企画及び管理
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校北海道リハビリテーション大学校
設置者名	学校法人吉田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>授業計画(シラバス)の策定においては、原則、厚労省の養成施設指導ガイドラインに基づき、かつ本学学則及び教務内規に則り、まずは「学科会議」及び「全体教務会議」で協議し、最終決議は、学校運営管理者による「運営会議」で最終協議を行い、校長決済を仰ぎ確定する。</p> <p>当該年度の学生は、担任教員よりシラバスを配布し説明を加え公表を行なっている。また、同時に本学「ディプロマポリシー」について説明し、卒業認定及び高度専門士授与の方針や修得目標等を学生に提示している。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/rehabili/">https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/rehabili/</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(各授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>学則(学生便覧に記載)及びシラバスに提示した評価方法・基準に沿って厳正に成績評価がなされ、学科会議において成績評価が適正か慎重に協議された上で、校長が定める成績判定会議において単位の認定を行なう。</p> <p>なお、学外における臨床実習等の成績評価は、実習先の担当実習指導者の評価を加味し適正かつ客観的な評価判定を行なっている。</p>	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>成績評価は学則に定めるとおり、定期試験やレポート・課題等を点数化し、成績判定会議資料の学科・学年・クラス別成績一覧表で順位づけしている。このことから、下位4分の1の学生については明確に把握している。成績不良者(下位層)に対しては、学生本人へ担当教員より点数及びクラス内順位を示し学習指導を行なっている。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/rehabili/">https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/rehabili/</a>
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
<p>ディプロマポリシー策定は、教員プロジェクトにおいて協議され、学校運営管理者で行なわれる運営会議にて最終的に承認している。公表は、学生に配布する「学生便覧」に記載されており、本学ホームページにも掲載している。</p> <p>卒業認定は、本学学則及び教務内規に定めるとおり、各課程で履修する科目すべての単位を修得し、かつ、本学卒業試験に合格した者に対し、卒業判定会議において確定されるものである。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<a href="https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/rehabili/">https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/rehabili/</a>

## 様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校北海道リハビリテーション大学校
設置者名	学校法人吉田学園

### 1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/">https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/">https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/</a>
財産目録	<a href="https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/">https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/</a>
事業報告書	<a href="https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/">https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/">https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/</a>

### 2. 教育活動に係る情報

#### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	理学療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3,570 単位時間／単位	1,070 単位時間 /単位	1,000 単位時間 /単位	1,500 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			3,570 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		194人	0人	10人	45人	55人	

#### カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

##### （概要）

授業計画（シラバス）の策定においては、原則、厚労省の養成施設指導ガイドラインに基づき、かつ本学学則及び教務内規に則り、まずは「学科会議」及び「全体教務会議」で協議され、最終決議は、学校運営管理者による「運営会議」で最終協議を行い校長決済を仰ぎ確定する。

当該年度の学生には、担任教員よりシラバスを配布し説明を加え公表を行なっている。また、同時に本学「ディプロマポリシー」について説明し、卒業認定及び高度専門士授与の方針や修得目標等を学生に提示している。

#### 成績評価の基準・方法

##### （概要）

学則（学生便覧に記載）及びシラバスに提示した評価方法・基準に沿って厳正に成績評価がなされ、学科会議において成績評価が適正か慎重に協議された上で、校長が定める成績判定会議において単位の認定を行なう。

なお、学外における臨床実習等の成績評価は、実習先の担当実習指導者の評価を加味し適正かつ客観的な評価判定を行なっている。

卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業認定は、本学学則及び教務内規に定めるとおり、各課程で履修する科目すべての単位を修得し、かつ、本学卒業試験に合格した者に対し、卒業判定会議において確定されるものである。また、進級も同様に、進級判定会議において進級が確定する。
学修支援等
(概要) 入学者を対象に、国語・数学等基礎学力のフォローや学習習慣化を促すことを目的とした「入学前準備教育」や、入学後の「リメディアル教育（放課後、基礎学力補習）」等を実施。また、成績不振者への補講や精神面でのケア等個別対応を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者 （自営業を含む。）	その他
41 人 （ 100%）	0 人 （ 0%）	40 人 （ 97.6%）	1 人 （ 2.4%）
(主な就職、業界等) 整形外科、総合病院、クリニック 等			
(就職指導内容) ・個別面接による相談対応 ・履歴書作成 ・模擬面接指導 ・求人情報の早期開示 ・就活ガイダンスの実施 ・病院/施設等参加による学内就職セミナー開催			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・理学療法士 37名（90.2%）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
196 人	23 人	11.7%
(中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・クラス担任による初期段階での相談体制 ・学科長、副校長、校長による段階的な指導体制 ・成績不振の学生に対する補講対応 ・外部機関によるカウンセリングルーム開設など		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	作業療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3,705 単位時間／単位	1,315 単位時間 /単位	635 単位時間 /単位	1,755 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			3,705 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		84人	0人	6人	40人	46人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画（シラバス）の策定においては、原則、厚労省の養成施設指導ガイドラインに基づき、かつ本学学則及び教務内規に則り、まずは「学科会議」及び「全体教務会議」で協議し、最終決議は、学校運営管理者による「運営会議」で最終協議を行ない、校長決済を仰ぎ確定する。</p> <p>当該年度の学生には、ポータルサイト上にシラバスを掲示し閲覧可能な状態にするとともに説明、公表を行なっている。また、同時に本学「ディプロマポリシー」について説明し、卒業認定及び高度専門士授与の方針や修得目標等を学生に提示している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学則（学生便覧に記載）及びシラバスに提示した評価方法・基準に沿って厳正に成績評価がなされ、学科会議において成績評価が適正か慎重に協議された上で、校長が定める成績判定会議において単位の認定を行なう。</p> <p>なお、学外における臨床実習等の成績評価は、実習先の担当実習指導者の評価を加味し適正かつ客観的な評価判定を行なっている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定は、本学学則及び教務内規に定めるとおり、各課程で履修する科目すべての単位を修得し、かつ、本学卒業試験に合格した者に対し、卒業判定会議において確定されるものである。また、進級も同様に、進級判定会議において進級が確定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>入学者を対象に、国語・数学等基礎学力のフォローや学習習慣化を促すことを目的とした「入学前準備教育」や、入学後の「リメディアル教育（放課後、基礎学力補習）」等の実施。また、成績不振者への補講や精神面でのケア等個別対応を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 （ 100%）	0人 （ 0%）	20人 （ 100%）	0人 （ 0%）
（主な就職、業界等） 総合病院、脳神経外科病院 等			
（就職指導内容） ・個別面接による相談対応 ・履歴書作成・模擬面接指導 ・求人情報の早期開示 ・就活ガイダンスの実施 ・病院/施設等参加による学内就職セミナー開催。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 作業療法士国家試験 20名合格（ 100%）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
97人	11人	11.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振、体調不良 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・クラス担任による初期段階での相談体制 ・学科長、副校長、校長による段階的な指導体制 ・成績不振の学生に対する補講対応 ・外部機関によるカウンセリングルーム開設など		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	言語聴覚学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3,110 単位時間/単位	2,160 単位時間 /単位	350 単位時間 /単位	600 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			3,110 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		79人	0人	5人	40人	45人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>授業計画(シラバス)の策定においては、原則、厚労省の養成施設指導ガイドラインに基づき、かつ本学学則及び教務内規に則り、まずは「学科会議」及び「全体教務会議」で協議し、最終決議は、学校運営管理者による「運営会議」で、最終協議を行い校長決済を仰ぎ確定する。</p> <p>当該年度の学生には、担任教員よりシラバスを配布し説明を加え公表を行なっている。また、同時に本学「ディプロマポリシー」について説明し、卒業認定及び高度専門士授与の方針や修得目標等を学生に提示している。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>学則(学生便覧に記載)及びシラバスに提示した評価方法・基準に沿って厳正に成績評価がなされ、学科会議において成績評価が適正か慎重に協議された上で、校長が定める成績判定会議において単位の認定を行なう。</p> <p>なお、学外における臨床実習等の成績評価は、実習先の担当実習指導者の評価を加味し適正かつ客観的な評価判定を行なっている。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業認定は、本学学則及び教務内規に定めるとおり、各課程で履修する科目すべての単位を修得し、かつ、本学卒業試験に合格した者に対し、卒業判定会議において確定されるものである。また、進級も同様に、進級判定会議において進級が確定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>入学者を対象に、国語・数学等基礎学力のフォローや学習習慣化を促すことを目的とした「入学前準備教育」や、入学後の「リメディアル教育(放課後、基礎学力補習)」等を実施。また、成績不振者への補講や精神面でのケア等の個別対応を実施。</p>



卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 （100%）	0人 （0%）	8人 （57.1%）	6人 （42.9%）
（主な就職、業界等） 総合病院、補聴器店 等			
（就職指導内容） ・個別面接による相談対応 ・履歴書作成・模擬面接指導 ・求人情報の早期開示 ・就活ガイダンスの実施 ・病院/施設等による学内就職セミナーの開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） 言語聴覚士 9名合格（64.3%）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
76人	8人	10.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・クラス担任による初期段階での相談体制 ・学科長、副校長、校長による段階的な指導体制 ・成績不振の学生に対する補講対応 ・外部機関によるカウンセリングルーム開設など		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法学科	200,000 円	1,150,000 円	27,000 円	入学検定料、教育充実費
作業療法学科	200,000 円	1,150,000 円	27,000 円	入学検定料、教育充実費
言語聴覚学科	200,000 円	1,020,000 円	17,000 円	入学検定料、教育充実費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/rehabili/">https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/rehabili/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本学委員会規定に基づき、卒業生・企業関係者・地域住民等役職者で委員会を構成し、学校関係者評価委員会を年 1 回開催。自己点検・評価の結果を報告し、各委員より評価が客観的に適正か否か、ご意見や助言をいただき、学校運営の改善や更なる教育力向上を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
社会福祉法人北翔会 医療福祉センター札幌あゆみの園 地域支援部 地域支援課 課長	令和 6 年 4 月 1 日 ～令和 8 年 3 月 31 日	卒業生
医療法人社団明生会 イムス札幌内科リハビリテーション病院 リハビリテーション科作業療法課 課長	令和 6 年 4 月 1 日 ～令和 8 年 3 月 31 日	教育に関する有識者
日本医療大学 リハビリテーション学科作業療法学専攻 教授	令和 6 年 4 月 1 日 ～令和 8 年 3 月 31 日	企業等委員
医療法人 札幌麻生脳神経外科病院 リハビリテーション部 技士長	令和 6 年 4 月 1 日 ～令和 8 年 3 月 31 日	企業等委員
札幌医科大学 医学部神経精神医学講座 准教授	令和 6 年 4 月 1 日 ～令和 8 年 3 月 31 日	卒業生保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/rehabili/">https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/rehabili/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項) ・理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚学科は、一般社団法人リハビリテーション教育評価機構による教育評価認定審査を受審し認定を受けている。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/rehabili/">https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/rehabili/</a>
--